

ラット・マウス非観血血圧測定装置 BP-2010A

本装置は、尾動脈(Tail-Cuff 法)より、光電容積脈波を利用して、赤外線センサーで尾の血流量変化を検出し、圧力と脈波の関係より、非侵襲的に、収縮期血圧(SBP)、拡張期血圧(DBP)、平均血圧(MBP)、および心拍数(HR)を測定できます。

高性能測定

- 赤外線を利用し、尾動脈の脈波を正確にモニターし測定
- 様々なサイズのネズミ(若齢、妊娠中、肥満等)に利用可能
- 実験目的に応じて、特別なセンサーやアクセサリーをカスタマイズ

自動測定機能

- 脈波の安定性と状態を自動で判断し、設定した回数を自動測定
- 本体が自動的に測定結果を集計し、平均値、標準偏差、標準誤差、偏差係数を計算
- 操作ミスが発生した場合、ソフトウェアが自動的に問題を検出し、解決策を提示



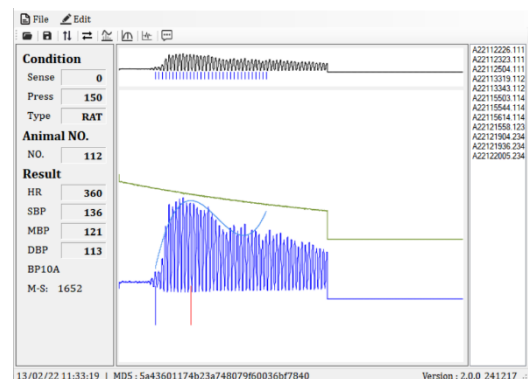
動物・測定者にやさしい設計



- 帆布製のポケットとネットの固定方式を組み合わせ、動物の習性に合わせて安定した状態を保持
- 円筒形の保温筒で、適切な温度(30-40℃)を設定し、血液循環を促進。短時間で測定できる状態にし、測定の正確性と再現性を実現
- デュアルモード操作: パソコンでデバイスを操作し、画面で血圧データを確認。または、ホストデバイスで直接測定し、測定データを SD カードにストレージ可能
- 4. 3インチ LCD ディスプレイで、リアルタイムの脈波形をモニター

優れたデータ処理

- 測定時の波形、動物情報、元波形、測定結果の自動保存
- 再編集と統計分析機能を備え、データを Excel または画像フォーマットにエクスポートし、検査報告を生成。MD5 フィンガープリントコードを付属し、GLP 基準に準拠
- タイマー測定機能で、カスタムのスケジュールをサポートし、術中血圧モニタリングに適用
- ショック状態の動物の血圧検出を可能にし、特殊な実験ニーズへの対応を実現



多彩な実験設定

- 多チャンネル同時保温をサポートし、測定効率を大幅に向上
- 1回の測定は 10-15 秒で終了
- 複数の本体を使用し血圧モニタリングワークステーションを構成し、より大規模な実験ニーズにも対応

パラメータ仕様

パラメータ	仕様
検出方式	Tail-Cuff 法+光電容積脈波法
測定パラメータ	SBP、DBP、MBP、HR
血圧測定範囲	最小 50mmHg～最大 350 mmHg
心拍数測定範囲	最大 1000 BPM
保温制御	本体内蔵保温システム 30-40℃で設定可能 3チャンネル保温器、温度 30-40℃、ボリュウム式設定
ストレージ方式	コンピューターまたは SD カード
通信方式	USB
ディスプレイ	4. 3インチ LCD
電源	AC110-220V
デバイスサイズ	236(W) × 236(D) × 100(H) mm

デバイスアクセサリ(オプション含む)

保温システム		加圧センサーとカフ	
			
保温器本体 TMC-31 保温筒 TMC31-TC-60		ラット用カフセンサー RCP-L/M/S マウス用カフセンサー MCP	ラット用カフ BP98-RCF L/M/S マウス用カフ BP98-MCF
動物固定装置			
			
ラットポケット BP10-RPK L/M/S マウスポケット BP10-MPK L/M		ラットネット BP10-RNT L/M/S マウスネット BP10-MNT L/M/S	測定台 BP10-FX

株式会社ソフトロン

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-45-4

TEL03-3312-3432 FAX03-3312-3403